

令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

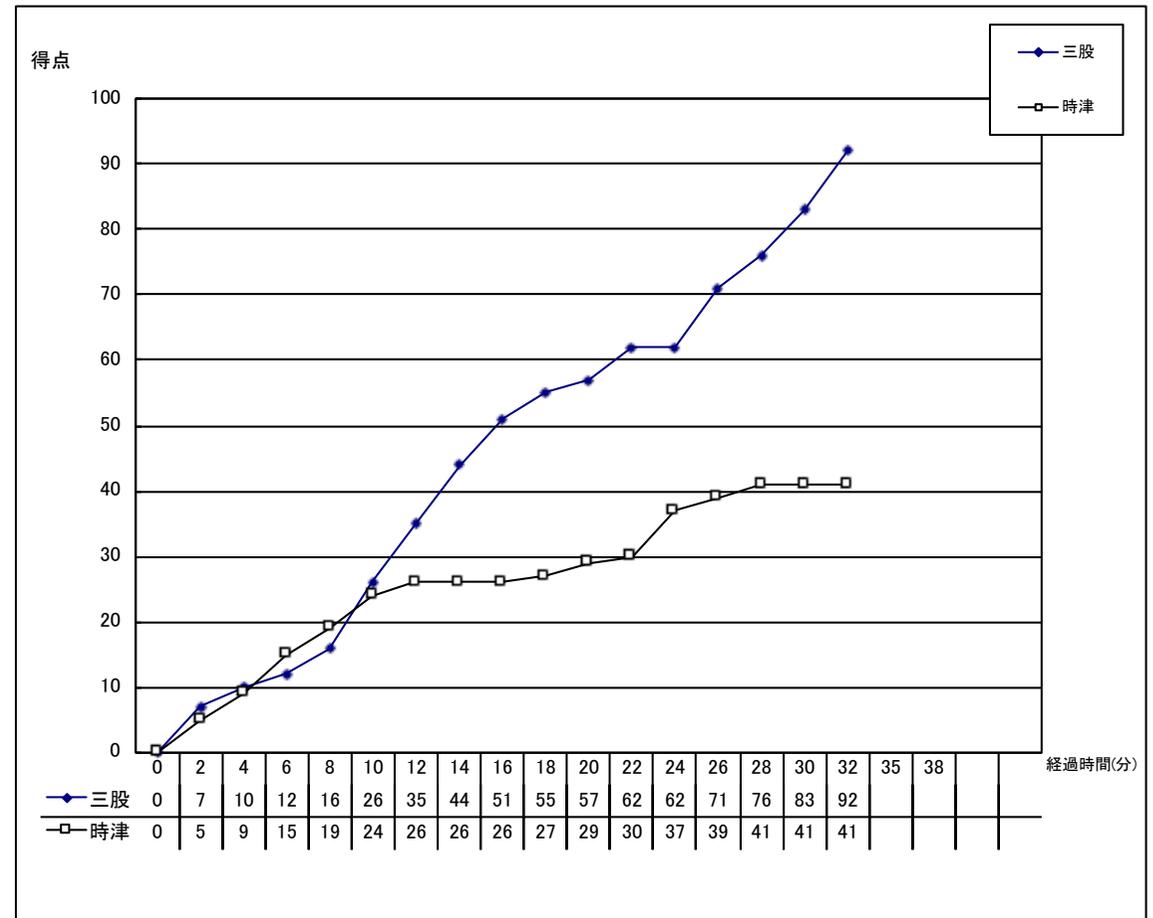
個人データ表

女子 準決勝	令和5年8月10日	9:30 開始
会場： ナースパワーアリーナ	Bコート	第1試合
主審： 山崎 尚志	副審： 平本康弘 坂之上拓也	

☆ 三股 宮崎	92	16 35	1 Q 2 Q	19 7	41	時津 長崎
		11 30	3 Q 4 Q	11 4		

三股												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
○ 4	小玉 愛莉	26	3	4	8	11	1	3	1	1	2	3
○ 5	蔵満 莉緒	10	2	5	2	3				4		4
○ 6	浅利 蕾	5	1	4	1	1			1		1	1
7	中嶋 璃子	2		2	1	1						
8	平野 那実	2			1	1			2			
9	有田 理沙子	6	2	2		1			1	5		5
○ 10	小田 陽夏子	14		1	6	11	2	2	1	3	4	7
○ 11	及川 莉奈			2		1				1		1
12	原 ゆり子	5	1	1	2	3	1	2	1	1		1
13	和田 すず乃	8	2	4	1	2						
14	山田 千晴	3		2	1	2	1	1	1	1		1
15	徳重 小晴	5		3	2	5	1	2			1	1
16	押領司 呼愛	4			1	3	2	2	1		2	2
17	山元 楓愛	2			1	2		2	1		1	1
18	田中 希依					2				2	1	3
コーチ	横山祥子											
合計		92	10	30	27	49	8	14	10	18	12	30
成功率			33.3%		55.1%		57.1%					

時津												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
○ 4	谷川 早和	7		1	3	8	1	2	1	1		1
5	江口 真央			4		1						
○ 6	原 愛瑠	5			2	3	1	1	1	1		1
7	芝崎 心美	3			1	2	1	1	1			
8	嘉藤 柚花									1		
9	深松 柚	2			1	2			2			
○ 10	白井 友	5	1	1	1	1			1			
11	東野 愛依											
12	岩本 結衣那											
13	堀 香奈子									1		
14	上野平 和莉					1		4	1	1		1
○ 15	木村 心愛	8		1	3	6	2	2	2	1	3	4
16	三宅 彩葉	2			1	1						
○ 17	井上 真緒	9		2	3	4	3	4			1	1
18	深松 桃											
コーチ	田崎 貴洋											
合計		41	1	9	15	29	8	14	11	4	4	8
成功率			11.1%		51.7%		57.1%					



《戦評》

女子準決勝、三股町立三股中学校（宮崎1位）と時津町立時津中学校（長崎1位）の対戦。

1 Q：三股はオールコートマンツーマン、時津はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。先制は時津#10の3P。しかし、三股は#4の連続得点や#5の3Pで点差を広げ、10-5三股5点リードのところ、時津は前半1回目のタイムアウト。タイムアウト後、#4、#15、#17の連続得点などで時津が逆転に成功。その後一進一退の攻防が続き、三股16-19時津で第1Q終了。

2 Q：開始早々三股は、#4の2連続3P、#5のゴール下で24-19の逆転に成功。2Qが始まって1分が過ぎたところで時津は前半2回目のタイムアウトを要求。タイムアウト後、時津は#4や#6の得点で点差を縮め、たまた三股はタイムアウト。その後の三股はさらにギアをあげ時津に思い通りのプレーをさせない。5分の間、相手の得点を0に抑え、22-0のランをみせ、三股51-26時津の25点のリードをつけ、前半が終了。

3 Q：なんとかして点差を詰めた時津は#4や#17の得点で対抗するが、三股の勢いは止まらず点差が30点に開いたところで三股はスタートメンバーをベンチに下げる。その後、時津もスタートメンバーを下げる。時津は果敢なおフェンスで相手のファールを誘い、フリースローで加点していく。三股も安定した攻撃を続け点数を重ね点差はそのまま。三股62-37時津で第3Q終了。

4 Q：あとがない時津は、果敢に攻撃をしかけるが、なかなか点数に結びつかない。約2分間ノーゴールであったが、#16や#9の得点で粘るも三股の勢いは止まらない。#15の連続得点や素早いファストブレイク等でさらに点差を広げ、三股92-41時津で三股が勝利し、決勝進出を決めた。

三股は選手全員が攻守ともにアグレッシブな姿勢を続け、積極的にシュートを狙い続けた。また、選手層も厚く、チーム全体のシュート確率も高く、効率良いスピーディーなバスケットを展開した。時津は個人スキルやシュート力の高さを生かして次の代表決定戦に臨む。最後まで諦めずに戦った両チームに拍手を送りたい。

西田 亮 (宇城市立小川中学校)